

① 以下の文章を読みながら「た・ち・つ・て・と」に○(まる)をつけてください。

きそじはすべてやまのなかである。あるところはそばづたいにいくがけのみちであり、あるところはすうじゅっけんのふかさへのぞむきそがわのきしであり、あるところはやまのおをめぐるたにのいりぐちである。ひとすじのかいどうはこのふかいしんりんちたいをつらぬいていた。

ひがしざかいのさくらざわから、にしのじっきょくとうげまで、きそじゅういっしゅくはこのかいどうにそうて、にじゅうにりあまりにわたるながいけいこくのあいだにさんざいしていた。どうろのいちもいくたびかあらたまったもので、こどうはいつのまにかふかいやまあいにくもれた。なだかいかけはしも、つたのかずらをたのみにしたようなあぶないばしょではなくなって、とくがわじだいのすえにはすでにわたることのできるはしであった。しんきにしんきにとできたみちはだんだんだにのしたのほうのいちへとくたってきた。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

た	ち	つ	て	と
<input type="text"/>				

③ 何について書かれた文でしたか？口頭で教えてください。

..... 折り線 .....

【物語】 仮名拾い (かなひろい) 課題プリント その4

答え ② た：18 ち：6 つ+っ：10 て：6 と：9

③ 木曾路について紹介している文。  
(他、物語を説明してもらおう) など

物語の出典：

夜明け前 第一部上 - 島崎 藤村 著  
を平仮名に加工して作成